

平成27年度予算の概要

各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,754億6,000万円	1.6%
国民健康保険事業特別会計	613億2,900万円	15.0%
後期高齢者医療事業特別会計	91億3,400万円	4.3%
介護保険事業特別会計	345億3,400万円	7.6%
駐車場事業特別会計	7億2,240万円	0.7%
合計	2,811億7,940万円	5.1%

区民一人当たりの予算額（一般会計）

高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	157,826円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	39,631円
災害対策や地域活動、文化振興などに	40,617円
道路・公園整備やまちづくりに	24,879円
清掃事業や環境対策に	10,792円
中小企業に対する融資など産業経済に	8,238円
常勤職員の給料等に	58,913円
特別区債の償還などに	8,993円
国民健康保険・介護保険事業などの繰出しに	38,304円
合計	388,193円

人口は449,527人（平成27年1月1日現在）から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

2月17日の本会議において、平成27年度各会計予算5件を審査するために、38名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

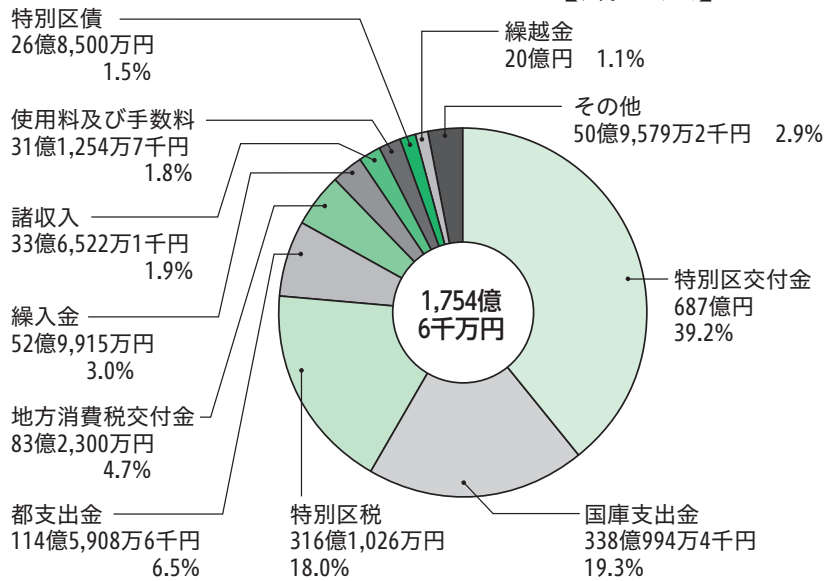
予算案は、3月3日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、11日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月27日の本会議において可決されました。

予算審査特別委員会

平成27年度予算を審査

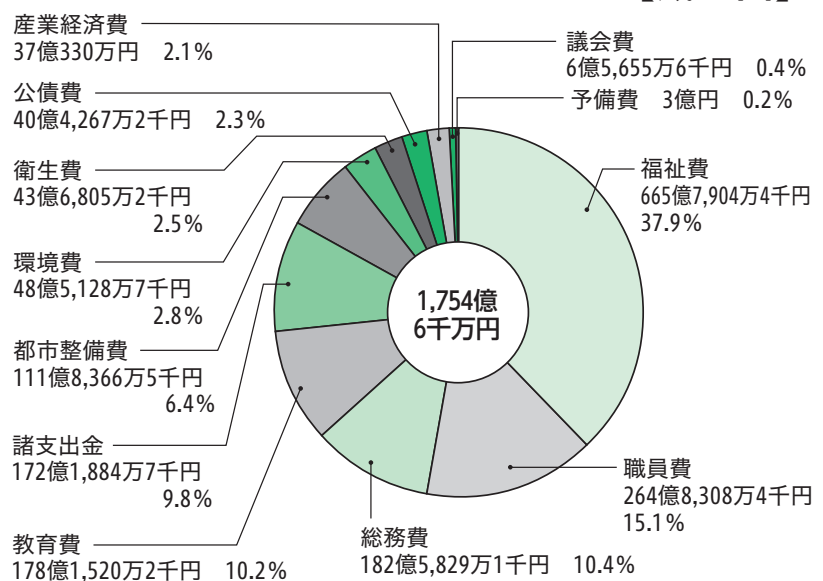
一般会計

【歳入】



※その他は分担金及び負担金など。

【歳出】



※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。

予算審査特別委員会 委員長報告（要旨）

予算審査特別委員会は、平成27年度各会計予算について審査を行うために、2月17日の本会議において、38名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために、第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費・総務費・産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び衛生費を、第3分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費並びに各特別会計予算を所管しました。

3月3日の委員会では、総括質疑を実施し、10名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立って質疑が交わされました。

また、3月4日から9日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、3月11日に、当委員会は、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。

その上で、付託議案5件について順次採決を行い、「平成27年度葛飾区一般会計予算」、「平成27年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「平成27年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」、「平成27年度葛飾区駐車場事業特別会計予算」は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。また、「平成27年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

平成27年度予算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成27年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

自由民主党議員団

「夢と誇りあるふるさと葛飾」
実現に向けた事業展開を

平成27年度予算は、経営改革を一層推し進め、簡素で効率的な区政運営を目指しながらも、基本計画の重要プロジェクトを柱として優先的に予算を配分し、将来を見据えた取り組みを展開していることを高く評価する。今後、区民とともに創る「夢と誇りあるふるさと葛飾」を積極的に推進するよう以下意見を述べる。

議会費・職員費 適正に編成されているものと認める。

総務費 夢と誇りあるふるさと葛飾基金について、歳入の確保だけに留まらず、区の広報や地場産業の活性化等に繋がるような利用の拡大を要望する。広報費は区の魅力発信のため、更なる工夫を凝らし、積極的な展開を求める。「わたしの便利帳」はより利便性を高めるよう要望する。財産管理費は、区が所有する未利用地を暫定的に活用するなど柔軟な運用を求める。企画調整費は、積極的に民間の力を活用することを求める。災害対策費は、家具転倒防止対策や民間建築物耐震診断及び改修助成による安全な街づくりを更に進めるよう要望する。地域活動推進経費の自治町会世帯助成は今後も自治町会活動を全面的に支援するよう求める。

産業経済費 プレミアム付商品券は、地域の消費を喚起できる発行方法に努められたい。町工場見本市の開催を平成27年度も引き続き要望する。

福祉費・衛生費 概ね適正に執行されているものと評価する。今後の高齢者福祉の展開を視野に、国は地域包括ケアシステムの計画策定を平成29年度に、事業実施を30年度に求めている。区としての責任ある執行体制を求める。生活保護受給者数や保護率の伸びを抑えるため、生活困窮者の早期発見・支援の徹底が必要であり、そのための体制構築を急がねばならない。障害者グループホームの防災対策整備助成は、全施設

への計画的な設置を要望する。子ども子育て支援新制度は、複雑で理解が困難な点もあり、周知方法の工夫を求める。また、新制度による保育士不足が生じないよう対策を講じられたい。がん対策事業経費について、乳がん・子宮がんは早期発見・治療による完治率が高いことから、受診率を高めるよう積極的な取り組みを求める。

環境費 清掃一部事務組合分担金は適正に執行されているが、多額を分担していることを踏まえ、区としての主張をより明確にして清掃業務の安定と一層の効率化を促すよう求める。

都市整備費 新たな鉄道専門部署の設置を強く求めたい。細街路拡幅整備事業は更なる展開と拡大を要望する。建築確認申請の受付業務のより迅速な対応を強く要望する。堀切菖蒲園再整備は、歴史ある名所であり貴重な観光資源であるため、一層の集客が見込まれるよう、地元住民や利用者の声をより反映させることを求める。

教育費 学校教育活動指導経費は、類似事業や目的を終えた事業の見直し・スクラップ&ビルドを行うよう求める。児童・生徒が読書を身近に感じ、読書に親しむ機会を積極的に支援する学校図書館づくりを要望する。災害時の連絡・情報収集用や観光振興の視点から全ての公共施設に段階的な公衆無線LANの普及を望むが、中央図書館が先鞭をつけることは高く評価する。

葛飾発祥のクラブチーム「南葛SC」について、地域貢献活動等を通して区民がチームや選手に親しむを持って応援する気持ちを醸成するため、区との連携・共催事業を積極的に推進するよう求める。水元地区で開業予定のフィットネスパークでは、従来の取り組みにとらわれないことなく、「プロ・社会人スポーツの開催」「区出身の有名アスリートの招聘・記録会」「東京オリピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致」等新しい事業を積極的に展開していくことを要望する。

